

判例の調べ方



「判例」とは、裁判の先例。個々の判決をいう場合もあります。一方で、最も広義には、すべての過去の裁判例のことを表します。

ここでは、「図書館資料やデータベースなどの情報源に収録された裁判例」の調べ方を紹介します。

1. 調べるための基礎知識

判例は先例として重要な役割を持っています。教科書や授業、論文などで取り上げられる際、判例は以下の方法で引用されます。

判例の引用方法

- ① **裁判所名**………裁判が行われた裁判所名
- ② **判決・決定・命令**…裁判の種類
- ③ **裁判年月日**………判決・決定・命令が下された年月日
- ④ **事件番号**………裁判所が取り扱う事件全てに付与された番号
- ⑤ **出典(出所)**…判例が掲載された判例集などの名称と巻号頁

【例】
 最(三小) 判 昭和62・3・3 昭和59年(あ)第1090号
 ① ② ③ ④
 刑集41巻2号15頁
 ⑤



- ① 最高裁判所第三小法廷における
- ② 判決
- ③ 昭和62年3月3日に言い渡された
- ④ 昭和59年度に最高裁に申し立てされた1090番目の刑事上告事件
- ⑤ 最高裁判所刑事判例集41巻Ⅱ号15ページ以降に掲載

その他の表記例

裁判所名 「大」大審院 「最大」最高裁判所大法廷など
 裁判種類 「決」決定 「命」命令
 出典 「民集」最高裁判所民事判例集など

判例を探すときの注意

- ① 公式判例集は各裁判所が発行
 公式判例集は、判例として公表に値するものを各裁判所が選定し、編集したものです。探している判例が、いつ・どの裁判所で出されたものか確認し、適切な判例集を選ぶ必要があります。
- ② 判例が収録されるまでの期間
 公式判例集は半年以上、判例掲載雑誌は3か月前後かかります。また、最高裁判所事務総局が発行する『裁判所時報』には、2週間～1か月で掲載されます。裁判年月日、判決日に応じた資料を選択しましょう。
- ③ すべての判例が公開されるわけではない
 全体の裁判数からすると、公開されている判例数は少なく、公開されていない判例も多く存在します。特定の判例が見つからない場合は、テーマに合った類似の判例を探すことが必要です。

2. データベースで調べる

データベースでは、裁判所名・裁判年月日・事件番号・キーワードなどをもとに判例を検索することができます。また、判例だけではなく、関連文献・評釈・参照条文へのリンク機能も充実し、判例資料を探す際に便利に使うことができます。ここでは、一部の機能を紹介します。

※[DB]…オンラインデータベース

- **D1-Law.com 第一法規法情報総合データベース [DB]**
 約22万件の判例と要旨・解説情報・文献情報などを収録しています。各判例に、その判例への評釈件数などから判例重要度が設定されている機能もあります。

- **WestLaw Japan [DB]**
 約27万件の判例、審決等、法律情報を検索することができます。検索した判例の「解説」タブから、解説記事の本文を見ることもできます。

- **判例秘書INTERNET [DB]**
 約40種類の公式判例集・商業判例雑誌に掲載された判例、また、判例雑誌『判例タイムズ』や『金融法務事情』などの雑誌や文献に掲載された論文を収録しています。「基本データベース」と「法律雑誌・文献データベース」があります。

●裁判所COURTS IN JAPAN [DB]

(www.courts.go.jp/)

「最近の裁判例」のページには、主要な判例や決定などが掲載されます。下級裁判所の判例も検索することができます。

3. 図書館の資料で調べる

判例を調べる資料としては、大きく分けて「公式判例集」「分野別判例集」および、「判例雑誌」の3種類があります。
()内は略称。

公式判例集

日本の裁判所には最高裁判所のほか、下級裁判所(高等・地方・家庭・簡易裁判所)があります。各裁判所作成の判例集が公式判例集と呼ばれています。
※過去の判例集は「地下1階閉架」に所蔵しています。
お探しの方は図書館員へお問い合わせください。

大審院、最高裁判所

『大審院民事判例集』 ([大]民集)

【所蔵年：大正11(1922)～昭和21(1946)】

『大審院刑事判例集』 ([大]刑集)

【所蔵年：大正11(1922)～昭和22(1947)】

『最高裁判所民事判例集』 (民集)

『最高裁判所刑事判例集』 (刑集)

【所蔵年：昭和22(1947)～最新】

●国立国会図書館デジタルコレクション [DB]

(www.dl.ndl.go.jp/)

国立国会図書館で収集・保存しているデジタル資料を検索・閲覧できるサービスです。
デジタル化資料は、発行当時の資料をそのままの形で閲覧できます。

下級裁判所

『高等裁判所民事判例集』 (高民・高民集・高裁判集)

【所蔵年：昭和22(1947)～平成13(2001)】

『高等裁判所刑事判例集』 (高刑・高刑集・高裁判集)

【所蔵年：昭和22(1947)～平成14(2002)】

『東京高等裁判所判決時報』 (東高時報)

【所蔵年：昭和51(1976)～平成15(2003)】

『家庭裁判月報』 (家月)

【所蔵年：昭和22(1947)】

最新の判例

最高裁判所が発行する『裁判所時報』には、判例の速報が全文掲載されています。

『裁判所時報』 (裁判)

【所蔵年：昭和23(1948)～最新】

分野別判例集

特定の分野の判例がまとまっている判例集もあります。

※配置場所は最新刊を表記しています。バックナンバーに「閉架」と記載のある資料は図書館員へお問い合わせください。

『交通事故民事裁判例集』 (交民集)

【配置場所：3階雑誌架】

『地方公務員法実例判例集』

【配置場所：2階開架 (参考図書)】

『地方自治関係実例判例集』

【配置場所：2階開架 (参考図書)】

判例掲載雑誌

判例について解説・論評された記事を判例評釈・判例批評などといいます。広域な分野を扱う総合判例雑誌、特定の分野を掲載する分野別判例雑誌があります。

()内は略称。

『訟務月報』 (訟月) 【配置場所：地下1階閉架】

法務省訟務局が作成している判例情報誌です。

国または行政庁を当事者とする判例を掲載しています。

『法曹時報』 (曹時) 【配置場所：3階雑誌架】

毎月数件の「最高裁判所判例解説」が掲載されます。

『法曹時報』に掲載された1年分をまとめて

『最高裁判所判例解説』 【配置場所：地下1階閉架】

が発行されます。

『ジュリスト』 (ジュリ) 【配置場所：3階雑誌架】

時の判例シリーズでは、事件に関する事実、要旨、解説また評釈が掲載されています。

季刊の『論究ジュリスト』 (論ジュリ)には、幅広い法分野・法事象を対象に、核心にせまる理論考察が掲載されています。その他、『別冊ジュリスト』では「判例百選」シリーズが出版されています。また、「臨時増刊号」では、「重要判例解説」シリーズが出版されています。

※図書館2階カウンターで「判例百選」の巻号一覧を確認できます。

『判例時報』 (判時) 【配置場所：3階雑誌架】

主要な最高裁判例および重要な下級審判例の全文を掲載しています。判例の背景、要旨、意義など解説があり、毎月1日号には、「判例評論」が附録として綴じ込まれています。

『判例タイムズ』 (判夕) 【配置場所：3階雑誌架】

法律実務家向けに全国の判例情報および論文が掲載されています。民法関係の判例も充実しています。

『法学教室』 (法教) 【配置場所：3階雑誌架】

法学部学生向けに出版される法学雑誌です。「判例講座」では、会社法や民事訴訟法などから主要な判例を取り上げ、研究者が解説しています。

『法学セミナー』 (法セ) 【配置場所：3階雑誌架】

法学部生・大学院生向けの総合学習誌です。別冊として、「基本法コンメンタール」が刊行されています。増刊に「速報判例解説」があります。

『法律時報』 (法時) 【配置場所：3階雑誌架】

毎年春に臨時増刊として「判例回顧と展望」が刊行されています。別冊に「私法判例リマークス」があります。

『家庭の法と裁判』 (家庭の法) 【配置場所：3階雑誌架】

「家事事件」「少年事件」の最新判例を扱う専門判例雑誌です。収録の家事裁判例・少年裁判例には、実務上参考となる判断の意義や位置づけなどを示すコメントが掲載されています。

『金融・商事判例』 (金判) 【配置場所：3階雑誌架】

商事分野に特化した判例雑誌です。重要判例を網羅的に取り上げ、商法学者などが議論した成果を反映した判例評釈が掲載されています。

『判例地方自治』 (判例自治) 【配置場所：3階雑誌架】

地方公共団体が当事者となっている行政・民事の裁判例(地方自治判例)を収録しています。重要判例には解説・評釈などが掲載されています。